

北野天満宮宝物殿

秋の特別公開

# 学問の神々さましんじゅぶつと神儒仏の信仰しんじゅぶつ

奉納された貴重書と版木と刀剣 一挙公開

大日本史

令和四年

十月二十九日(土)～十二月四日(日)

〔場所〕北野天満宮宝物殿

〔時間〕九時～十六時(最終受付十五時四十五分)

〔拝観料〕大人一、〇〇〇円 中高生五〇〇円 小人・修学旅行生二五〇円

※未就学児無料



全国天満宮総本社

北野天満宮

# 学問の神さま 神儒仏の信仰

学問の神さまとして知られる御祭神菅原道真公（菅公）の学問の基礎となったのは神儒仏の信仰と教養でありました。神儒仏とは神道・儒教・仏教のことで、日本の学問、道徳そして信仰のすべては、この三者に帰するといっても過言ではありません。

詩歌、書、そして学問の神として崇められた当宮には、崇敬者や版元より多くの貴重な書籍が寄進されており、その多くは神儒仏に関わるものです。当宮の文庫には、歴史の中で集積と散逸を繰り返しつつ、現在も十万余りの蔵書が納められています。

この度の特別展では、学問の神としての菅公に改めて焦点を当て、北野文庫の貴重書、そして書籍とともに奉納された珍しい版木などを初公開いたします。また武神としての菅公をものがたる刀剣約二十振りも合わせて展示いたします。

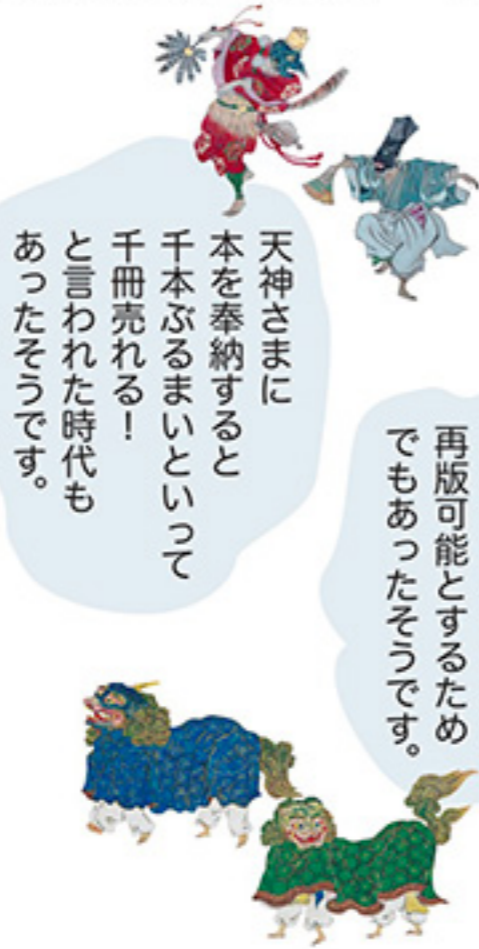


《北野天神縁起絵巻》（平成記録本）巻一 少年時詩作 平成時代 原本：鎌倉時代

学問をする少年菅公。五歳で和歌、十一歳で漢詩を詠まれた神童なんです。



『天神記圖會』明治35年



天神さまに本を奉納すると千本ふるまいといわれて千冊売れる！と言われた時代もあったそうです。

版木の奉納は、版元が火事になっても再版可能とするためでもあったそうです。



奉納された『天神記圖會』の版木と紙型



～武神としての菅公を 刀剣約20振り 公開中！ 物語る刀剣の数々～



鬼を切った刀と伝わる「鬼切丸」です。



源氏の重宝 太刀 鬼切丸 別名髭切 平安時代

全国天満宮総本社  
**北野天満宮**

お問い合わせ TEL 075-461-0005

右記QRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込むと北野天満宮の最新情報にアクセスできます。Twitterでもご案内しております。



アクセス

嵐電 北野白梅町駅より徒歩5分  
JR京都駅より市バス50系統  
JR・地下鉄二条駅より市バス55系統  
JR円町駅より203系統  
地下鉄今出川駅より市バス51・203系統  
京阪出町柳駅より市バス203系統  
阪急大宮駅より市バス55系統  
阪急西院駅より市バス203系統  
※いずれも北野天満宮前下車すぐ